

大震災を忘れない ⑧

進まない復興に歯がゆい思い

岩手県保険医協会 会長 箱石 勝見

津波の跡はまるで原爆の跡と同じ

震災から一年六カ月。今思うのは、人的災害と自然災害は似て非なる物、自然災害は避けては通れません。が、人災は使わなくて良いものを使ったがために起こるといことです。今回の震災はこの二つが重なり、世界的にも大きな影響を及ぼすものとなりました。

震災直後、沿岸部を訪れた時見た津波の跡は、満州からの引揚げ当時見た広島原爆の跡と同じと感じました。しかし、踏みとどまって考えてみると全く異なる



津波に流された跡を見た時、私が満州から引揚げ当時見た広島原爆の跡と同じと感じた。(2011.3.21 陸前高田市)



商店街の真ん中に船が取り残された。(2011.3.19 宮古市)

岩手県沿岸市町村の医療提供施設の被害状況及び復旧状況 (H24.4.1現在)

注1) 医療提供施設の被害状況及び復旧状況は、平成24年4月1日現在で把握している最新の情報に基づき作成したものである。
注2) 「既存数」は、被災日における許可上の医療提供施設数(一般住民の診療を行っている医療機関を控除した数)
注3) 病院、診療所、歯科診療所の「再開」とは、保険診療の再開を意味するもの。
注4) 調剤薬局の「再開(仮設)」とは、薬事法で調剤許可を得ている場所以外での調剤を意味するもの。



種別	既存数	被災	継続・再開 自院 仮設	再開 見込	廃止 (無法地帯)	未定
洋野町	1	1				
久慈市	3	2	2			
野田村	1	1				
山田町	1	1				
大槌町	1	1				
釜石市	5	5				
大船渡市	1	1				
陸前高田市	2	1				
沿岸市町村計	19	13	10	3	0	0



佐々木博議長(左から2人目)に請願書を提出する坂副会長(右から2人目)と小山田副会長(右)

当初、被災地の医療費免... 除は今年九月末までとなつていました。当協会では患者アンケートを行い、免除打ち切りは被災者には厳し

その結果、条件付きで国が最大八割の財政支援を行い、残りを県が一部負担金、介護保険の利用料は免除される予定... 共済部だより

共済部だより
グループ保険・配当率約58%※
グループ保険は2011年度決算の結果、剰余金が生じました。加入者の方には配当金を10月中旬に保険料引落しの口座へ送金します。
金額等については、個別にご案内をお送りしますのでご確認ください。
※保険料から制度運営費を差し引いた額に対して、約58%の配当金をお支払いいたします。

編集後記
第一原発事故の影響とは考えられない」と発表した。その検討委員会が事前に集まり「因果関係はない」との見解をすり合わせていたことが明らかになった。その上で、本番では誰が質問し、誰が答えるというシナリオまで打ち合わせたという。もうあきれて絶句するしかない。
一方、記者会見から特定の意見を持つとする記者を排除しようとした原子力規制委員会。最初の仕事で言論規制かと世論の厳しい批判を浴び、しぶしぶ排除方針を撤回した。
透明性、公開性はまだ口先ばかりだ。(S・M)

協会制度融資
金利引き下げのお知らせ
5年以内 0.800%
(無担保、保証人不要)
詳細については保険医協会共済部までお問い合わせください。
TEL:076-442-8000/FAX:076-442-3033